



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 株式会社雪国まいたけ 上場取引所 東  
 コード番号 1375 URL https://www.maitake.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足利 巖  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 小室 雅裕 TEL 025 (778) 0162  
 兼 経営企画部長 兼 IR・広報部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	22,655	6.1	3,280	19.2	3,019	22.6	1,959	22.6	1,966	22.9	1,972	24.0
2020年3月期第2四半期	21,360	-	2,753	-	2,462	-	1,598	-	1,600	-	1,590	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	49.35	49.32
2020年3月期第2四半期	40.17	40.15

(注) 当社は2020年7月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(参考)

	調整後 営業利益		調整後 EBITDA		調整後 四半期利益		1株当たり 調整後四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	%
2021年3月期第2四半期	3,544	24.1	4,509	21.8	2,221	29.1	55.75	29.1
2020年3月期第2四半期	2,856	-	3,703	-	1,720	-	43.18	-

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2021年3月期第2四半期	36,857		6,874		6,880		18.7	
2020年3月期	35,199		4,901		4,899		13.9	

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	4,230.00	0.00	4,230.00
2021年3月期	-	14.00			
2021年3月期 (予想)			-	28.00	42.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は2020年7月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を表示しております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,678	3.8	8,324	24.4	7,783	17.1	5,099	17.4	5,099	17.3	127.96

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は2020年7月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」は、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

(参考)

	調整後 営業利益		調整後 EBITDA		調整後 当期利益		1株当たり 調整後当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	%
通期	8,618	24.9	10,453	20.5	5,466	27.6	137.17	27.6

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	39,850,000株	2020年3月期	39,850,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	-株	2020年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	39,850,000株	2020年3月期2Q	39,850,000株

(注) 当社は2020年7月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

(その他特記事項)

- (1) 当社グループは、2020年3月期から国際会計基準（以下、「IFRS」という。）を適用しております。
- (2) 調整後営業利益＝営業利益＋マネジメントフィー＋上場関連費用
- (3) 調整後EBITDA＝調整後営業利益＋減価償却費及び償却費
- (4) 調整後四半期（当期）利益＝四半期（当期）利益＋マネジメントフィー＋上場関連費用＋リファイナンス関連損益＋調整項目の税金調整額
- (5) (4)において、「上場関連費用」は、上場準備アドバイザー費用、上場のための組織体制構築に関する費用、上場のためのIFRS導入及び適時開示体制構築に関する費用、合併に伴う不動産登記費用等の上場関連の一時的な費用であります。また、「リファイナンス関連損益」は、当社非公開化後に実施したリファイナンスに関連して一時的に発生したアドバイザー費用等であり、同リファイナンスに伴う契約金利の低下によって発生した一時的な利得とそれに連動して発生する残存契約期間における支払利息の増加額を相殺しております。
- (6) 1株当たり調整後四半期（当期）利益＝調整後四半期（当期）利益÷期中平均株式数
- (7) 調整後営業利益、調整後EBITDA、調整後四半期（当期）利益及び1株当たり調整後四半期（当期）利益はIFRSにより規定された指標ではなく、当社グループが、投資家にとって当社グループの業績を評価するために有用であると考えた財務指標であります。当該財務指標は、上場のために発生した費用や非経常的損益項目（通常の営業活動の結果を示していると考えられない項目、あるいは同業他社に対する当社グループの業績を適切に示さない項目）の影響を除外しております。なお、調整後営業利益、調整後EBITDA及び調整後四半期（当期）利益に影響を及ぼす項目の一部を除外しており、分析手段としては重要な制限があることから、IFRSに準拠して表示された他の指標の代替的指標として考慮されるべきではありません。当社グループにおける調整後営業利益、調整後EBITDA及び調整後四半期（当期）利益は、同業他社の同指標あるいは類似の指標とは算定方法が異なるために、他社における指標とは比較可能でない場合があり、その結果、有用性が減少する可能性があります。

(決算補足説明資料（決算説明資料）及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年11月9日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会をライブ配信にて開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、2020年11月5日付にて当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり利益) .....	12
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から9月30日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大変厳しい状況が続きました。一部に、政府主導の経済政策による経済回復の動きもあり、国内の消費マインドにも変化が見られるものの、依然、先行きが不透明な状況が続いております。

国内きのこ市場は、外出自粛に伴う家庭での調理機会の増加や、健康意識の高まりを背景とした機能性食材の需要が拡大したことに加えて、初夏の天候不順により野菜の生育不良が発生し、野菜相場が高騰したことによるきのこへの需要の高まりもあり、堅調な推移となりました。

このような環境の中、当社グループは、引き続き中期経営計画の基本方針である「プレミアムきのこ総合メーカーとしての基盤確立」に基づき、まいたけを中心にきのこの機能性の開発と訴求を推進することにより、季節の食材という位置づけから日常的に消費される食材へと育成するとともに、安全・安心な製品をお客様に提供することを通じて健やかな社会の実現に貢献すべく事業展開を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の収益は、22,655百万円(前年同期比6.1%増)、このうち、売上収益は、14,997百万円(同4.3%増)となりました。2019年10月に取得した株式会社三蔵農林による売上の増加をはじめとし、茸事業が堅調に推移したことにより増収となりました。売上総利益は、ユーティリティ費の減少、品質向上、生産効率の向上等により売上原価率が低下したことから、7,383百万円(同12.0%増)となりました。販売費及び一般管理費は売上増加等で運賃、販売手数料等が増加し、3,957百万円(同1.7%増)となりました。

以上の結果、営業利益は、3,280百万円(同19.2%増)、四半期利益(親会社の所有者帰属)は、1,966百万円(同22.9%増)となりました。なお、当第2四半期連結累計期間においては、IFRS農業会計(IAS第41号)の適用に関する公正価値変動による利得が、収益に7,657百万円、売上原価に6,846百万円、それぞれ含まれております。

[2021年3月期第2四半期連結累計期間業績]

(百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	増減率 (%)
売上収益	14,377	14,997	4.3
公正価値変動による利得	6,982	7,657	9.7
収益合計	21,360	22,655	6.1
営業利益	2,753	3,280	19.2
税引前利益	2,462	3,019	22.6
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	1,600	1,966	22.9

当第2四半期連結累計期間における事業セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

[茸事業]

## ① まいたけ

まいたけの機能性を訴求するとともに、旨味と風味のバランスや食感の良さ等、食材としてお客様からの高い評価の獲得を通じて、季節の食材ではなく通年食材としての地位確立と、豊富な製品ラインアップを活かした製品戦略を展開しました。当第2四半期連結累計期間においては、販売単価は前年同期を下回りましたが、販売数量は堅調に推移しました。この結果、まいたけ事業の売上収益は8,402百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

## ② エリンギ

生産品質の向上により安定した供給を実現したことに加え、消費者のニーズに対応した戦略製品の投入による製品ラインアップの拡充を図ることで、販売数量、販売単価ともに前年同期を上回る状況で推移しました。この結果、エリンギ事業の売上収益は1,694百万円(同10.5%増)となりました。

## ③ ぶなしめじ

青果市況と市場の動向を注視し、需給バランスに応じた製品投入を実施することで、販売単価は前年同期を上回る状況で推移しました。この結果、ぶなしめじ事業の売上収益は2,960百万円(同6.5%増)となりました。

## ④ 茸その他

2019年10月に取得した株式会社三蔵農林が売上の増加に寄与しました。この結果、茸その他事業の売上収益は、1,683百万円(同128.0%増)となりました。

## 〔その他〕

その他事業の売上収益は、2020年2月のカット野菜及び納豆事業終了の影響により、255百万円(同75.7%減)となりました。

各事業セグメント別売上収益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	増減率 (%)
茸事業	13,325	14,741	10.6
まいたけ	8,273	8,402	1.6
エリンギ	1,533	1,694	10.5
ぶなしめじ	2,780	2,960	6.5
茸その他	738	1,683	128.0
その他	1,052	255	△75.7
売上収益	14,377	14,997	4.3

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末(2020年9月30日時点)の資産合計は、36,857百万円(前連結会計年度末比1,658百万円増)となりました。流動資産は、11,492百万円(同446百万円増)となりました。これは主に、現金及び現金同等物が952百万円減少した一方、生物資産が950百万円、営業債権及びその他の債権が298百万円、棚卸資産が184百万円それぞれ増加したこと等によるものです。非流動資産は、25,365百万円(同1,211百万円増)となりました。これは主に、まいたけ増産に係る設備増強・更新等に伴って有形固定資産が1,356百万円増加したこと等によるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、29,982百万円(同315百万円減)となりました。流動負債は、7,424百万円(同143百万円増)となりました。これは主に、未払法人所得税が475百万円、その他の負債が461百万円それぞれ減少した一方、営業債務及びその他の債務が814百万円、従業員給付に係る負債が179百万円それぞれ増加したこと等によるものです。非流動負債は、22,558百万円(同459百万円減)となりました。これは主に、借入金389百万円減少したこと等によるものです。

## (資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は、6,874百万円(同1,973百万円増)となりました。これは主に、四半期利益1,959百万円を計上したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ952百万円減少し、3,508百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1,292百万円(前年同期は1,320百万円の使用)となりました。これは主に、税引前四半期利益3,019百万円並びに減価償却費及び償却費964百万円の計上や、販売好調による棚卸資産の増加184百万円、並びに生物資産の増加950百万円等があった一方で、法人所得税の支払1,682百万円があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,652百万円(前年同期は389百万円の使用)となりました。これは主に、まいたけ増産に係る設備増強・更新等に伴う有形固定資産の取得による支出1,639百万円等があったことによるものです。また、前年同期において、当社保有の滋賀県の土地売却による収入があったことも変動要因となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、592百万円(前年同期は1,096百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出481百万円等があったことによるものです。なお、前年同期においては、長期借入金の繰上返済を実施したことも変動要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年9月17日の「東京証券取引所市場第一部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,461	3,508
営業債権及びその他の債権	2,141	2,439
棚卸資産	1,292	1,476
生物資産	3,019	3,970
その他の金融資産	0	-
その他の資産	131	97
流動資産合計	11,045	11,492
非流動資産		
有形固定資産	16,710	18,066
投資不動産	364	316
のれん及び無形資産	5,320	5,311
使用権資産	597	523
退職給付に係る資産	310	301
その他の金融資産	152	145
繰延税金資産	646	641
その他の資産	50	58
非流動資産合計	24,153	25,365
資産合計	35,199	36,857

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,390	3,205
未払法人所得税	1,539	1,064
従業員給付に係る負債	1,577	1,757
1年内返済予定の長期借入金	942	1,037
リース負債	196	199
その他の金融負債	26	15
その他の負債	605	144
流動負債合計	7,280	7,424
非流動負債		
借入金	22,438	22,048
リース負債	483	416
繰延税金負債	11	11
引当金	17	17
その他の金融負債	55	61
その他の負債	10	2
非流動負債合計	23,017	22,558
負債合計	30,297	29,982
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	△6,046	△6,046
利益剰余金	10,828	12,795
その他の資本の構成要素	17	31
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,899	6,880
非支配持分	1	△5
資本合計	4,901	6,874
負債及び資本合計	35,199	36,857

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
収益		
売上収益	14,377	14,997
公正価値変動による利得	6,982	7,657
収益合計	21,360	22,655
売上原価(*1)	14,767	15,272
売上総利益	6,592	7,383
販売費及び一般管理費	3,890	3,957
その他の収益	220	27
その他の費用	169	171
営業利益	2,753	3,280
金融収益	21	0
金融費用	312	262
税引前四半期利益	2,462	3,019
法人所得税費用	863	1,059
四半期利益	1,598	1,959
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,600	1,966
非支配持分	△1	△6
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	40.17	49.35
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	40.15	49.32

経営者は同業他社との比較可能性を勘案し、「材料費、人件費等」の情報は財務諸表利用者にとって有用であると考えられていることから、要約四半期連結損益計算書に注記として自主的に開示しております。「材料費、人件費等」は、IAS第41号「農業」に基づき認識した公正価値変動による利得を含まない当社グループが販売した製品の製造原価及び商品の仕入原価です。

(*1) 売上原価の内訳		
材料費、人件費等	8,663	8,425
公正価値変動による利得	6,104	6,846
合計	14,767	15,272

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期利益	1,598	1,959
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	△8	12
純損益に振り替えられることのない項目合計	△8	12
その他の包括利益(税効果控除後)合計	△8	12
四半期包括利益	1,590	1,972
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,592	1,978
非支配持分	△1	△6

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2019年4月1日残高	100	△4,360	6,524	44	2,308	3	2,312
四半期利益	-	-	1,600	-	1,600	△1	1,598
その他の包括利益	-	-	-	△8	△8	-	△8
四半期包括利益合計	-	-	1,600	△8	1,592	△1	1,590
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	-	-	3	△3	-	-	-
その他	-	-	-	2	2	-	2
所有者との取引額等合計	-	-	3	△1	2	-	2
2019年9月30日時点の残高	100	△4,360	8,128	34	3,902	1	3,904

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	100	△6,046	10,828	17	4,899	1	4,901
四半期利益	-	-	1,966	-	1,966	△6	1,959
その他の包括利益	-	-	-	12	12	-	12
四半期包括利益合計	-	-	1,966	12	1,978	△6	1,972
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	1	1	-	1
所有者との取引額等合計	-	-	-	1	1	-	1
2020年9月30日時点の残高	100	△6,046	12,795	31	6,880	△5	6,874

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,462	3,019
減価償却費及び償却費	847	964
支払利息	261	252
シンジケートローン手数料	46	9
固定資産売却損益(△は益)	△197	△1
固定資産除却損	104	72
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	407	△298
棚卸資産の増減額(△は増加)	△613	△184
生物資産の増減額(△は増加)	△763	△950
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△1,537	△17
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	13	9
従業員給付に係る負債の増減額(△は減少)	△695	179
その他	△632	△143
小計	△296	2,911
利息の支払額	△144	△79
シンジケートローン手数料の支払額	△16	△7
法人所得税の支払額	△1,204	△1,682
法人所得税の還付額	342	149
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,320	1,292
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,038	△1,639
有形固定資産の売却による収入	702	3
無形資産の取得による支出	△18	△3
その他	△35	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389	△1,652
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△992	△481
リース負債の返済による支出	△103	△111
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,096	△592
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,807	△952
現金及び現金同等物の期首残高	6,617	4,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,810	3,508

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## ① 報告セグメント

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会（最高経営意思決定者）が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品及びサービスについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開している「茸事業」を報告セグメントとしております。「その他」は報告セグメントに含まれない事業が含まれております。

なお、まいたけ事業、エリンギ事業及びぶなしめじ事業等は、売上収益の推移など経済的特徴が概ね類似しており、かつ、(a) 製品及びサービスの性質、(b) 生産過程の性質、(c) 当該製品及びサービスの顧客の類型又は種類、(d) 当該製品の配送又は当該サービスの提供のために使用する方法、(e) 規制環境の性質のすべてが類似しているため、「茸事業」として集約してしております。報告セグメントの事業内容は次のとおりであります。

	事業内容
茸事業	まいたけ、エリンギ、ぶなしめじ等、茸製品の製造販売

## ② 報告セグメント情報

報告セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

(単位：百万円)

	茸事業	その他	合計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
売上収益					
外部顧客への売上収益	13,325	1,052	14,377	-	14,377
セグメント間の内部売上収益	-	1	1	△1	-
計	13,325	1,053	14,379	△1	14,377
セグメント利益又は損失(△)	2,474	87	2,562	191	2,753
金融収益					21
金融費用					312
税引前四半期利益					2,462

(注) 調整額は、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年9月30日）

(単位：百万円)

	茸事業	その他	合計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
売上収益					
外部顧客への売上収益	14,741	255	14,997	-	14,997
セグメント間の内部売上収益	-	19	19	△19	-
計	14,741	275	15,017	△19	14,997
セグメント利益又は損失(△)	3,319	33	3,353	△72	3,280
金融収益					0
金融費用					262
税引前四半期利益					3,019

(注) 調整額は、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

## (1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定基礎は以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
基本的1株当たり四半期利益算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	1,600	1,966
親会社の普通株主に帰属しない四半期利益(百万円)	-	-
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(百万円)	1,600	1,966
期中平均普通株式数(千株)	39,850	39,850
基本的1株当たり四半期利益(円)	40.17	49.35
希薄化後1株当たり四半期利益算定上の基礎		
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(百万円)	1,600	1,966
四半期利益調整額(百万円)	-	-
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(百万円)	1,600	1,966
期中平均普通株式数(千株)	39,850	39,850
新株予約権による普通株式増加数(千株)	16	20
希薄化後期中平均普通株式数(千株)	39,866	39,870
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	40.15	49.32

(注) 当社は2020年7月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。